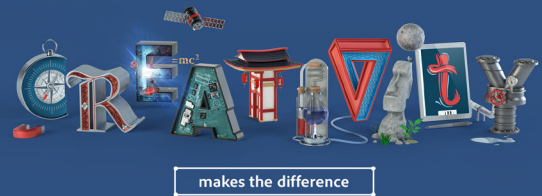


創造的問題解決実践の フロントランナーたち



Adobe Education Forum 2018 | 2018年7月23日(月) 東京大学 伊藤国際学術研究センター

テクノロジーやクリエイティビティを取り入れた教育プログラムにより、創造的問題解決能力を育成する取り組みはすでに各所で始まっています。それらを実際に体験し、課題発見や解決を経験した3人の生徒・学生の皆さんに、自身の参加した活動や手がけた作品、そこから得られた学びなどについてお話しいただきました。



早稲田実業学校 初等部 6年生
菅野 暁 さん

身近な家族の課題に着眼。実用的なオリジナルアプリで新しい価値を創造

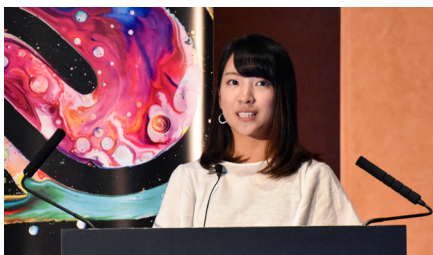
最初に登壇したのは小学6年生の菅野暁さんです。菅野さんは小学2年生の頃からプログラミングを始め、日本地図や百人一首などを題材にしたゲームを開発、数多くのプログラミングコンテストで受賞した実力派。そんな菅野さんが「人の役に立つアプリを作りたい」と小学生向けのクリエイター教育プログラム「Kids Creator's Studio*」に参加し、SwiftとAdobe XD、Illustratorなどを用いて開発したのが、写真から刺しゅう図案を自動作成するオリジナルiPhoneアプリ「写刺繡」です。発表ではその基本機能と、元画像に最も近い色の糸を自動選択する仕組みなど工夫した点、今後追加したい機能などが紹介されました。祖母がよく刺しゅうをすることから、市販の図案はバリエーションに乏しいことを知り、難しいオリジナル図案作りを自動化するアプリに取り組んだという菅野さん。「現代的でかわいい図案が簡単にできれば、刺しゅうの人气がまた上がると思います。これからも、ものづくりを簡単にするアプリを作っていきたい」と抱負を述べました。



同志社女子大学 学芸学部 2年生
森川 李奈 さん

高校で活用を始めたクリエイティブツールが、進路の可能性を拓いた

続いて大学2年生の森川李奈さんが登壇。高校時代に観光アプリを開発する「ココニワプロジェクト*」に参加した経験と、そこからつながる現在の活動について発表しました。プロジェクトではアドビのクリエイティブツールを用い、静止画・動画の編集や宣伝ボードの制作などに携わった森川さん。自分の考えが形になった達成感から、趣味程度に考えていたデザインを真剣に学びたくなったこと、また多くの学習研究発表会などで発表する機会を得て、人を楽しませるプレゼンに憧れるようになったことを振り返りました。この経験を経て森川さんは、デザインと英語の双方を学ぶという目的意識のもと同志社女子大学へ進学。現在は授業での学習とともに、友人の立ち上げた「学生によるデザイン事務所」のデザイナーとして、学外でも学びを深めています。最後に森川さんは「ICT環境やクリエイティブツールがさらに広く学校教育に取り入れられ、多くの人が自分にたくさんの可能性があることを知るようになってほしい」と希望を述べました。



千葉大学 教育学部 3年生
内山 桜 さん

多くの具体的な課題が学びを伸ばす。学生が主体的に担う大学運営

最後に大学3年生の内山桜さんが登壇し、自身が参加する千葉大学環境ISO学生委員会*の活動について発表しました。同委員会は千葉大学が認証取得するISO14001・50001*の運用の中核業務を担う学生組織で、内山さんは1・2年次には様々な活動の告知ポスターや啓発ツールの制作を担当する「デザイン班」の班員として、現在は情報部部長として活動しています。発表は、同委員会の代表的な活動と内山さんがそこで担当した制作物を中心に進み、全学生・教職員を対象とする環境ISO基礎研修と配布パンフレット、生協レジ袋の有料化と収益金によるオリジナルグッズの割引販売など、多彩な取り組みと制作物が紹介されました。また内山さんは、ほぼデザイン初心者の新入生が例年集まる「デザイン班」の運営を「例年6月に2年生が基礎を教え、その後は早期から具体的な依頼に即した制作物を通じてスキルを習得していく」と説明。委員会活動の様々な場面で、具体的な課題を通じた実践経験が豊かな学びをもたらしていることを明らかにする発表でした。

* Kids Creator's Studio アドビ システムズと株式会社CA Tech Kidsとの共同プロジェクト。半年間100時間の本格的な学習でデザインとプログラミングを学び、アイデアを実現する力を育む

* ココニワプロジェクト 奈良県立磯城野高等学校と東京工芸大学の共同教育研究プロジェクト。奈良県教育委員会の支援のもと、観光ARアプリ「ココニワ」を開発する

* 千葉大学環境ISO学生委員会 同様の環境・エネルギー管理システムを担う学生組織。約200名で構成され、中核業務のほか小人数のグループ「班」ごとの環境活動を行う

アドビ システムズ 株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2

ゲートシティ大崎イーストタワー

www.adobe.com/jp/

Adobe Systems Incorporated

345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA

www.adobe.com

その他のEducation Forumレポートはこちら

www.adobe-education.com/jp/aef2018/report



Adobe Creative Cloud教育機関向けについて詳しくは

アドビ教育

検索